

本日のおもちかえり  
2019年8月4日

- 1) 使徒行伝2章14節から41節を読みましょう。ここで「わたしたちはどうしたらよいのでしょうか」(37節)という問いに対してペテロは何と答えましたか？
  
- 2) ルカ15章11節—32節に記されている弟息子は放蕩に明け暮れた日々を送っていましたが、ある日、本心に立ち返り、ある決意をして家に帰ります(18節)。彼の決意の中には何が含まれていますか。
  
- 3) バプテスマのヨハネが荒野で伝えていたことは何でしたか(マタイ3章1節—2節)。これに対する人々の反応はどのようなものでしたか(5節—6節)
  
- 4) ヨハネより少し遅れて世に出てきたイエス・キリストが伝えたメッセージは何でしたか(マタイ4章12節—17節)。
  
- 5) ヨハネ黙示録3章18節—20節には私達がよく知る「イエス様が私達の心のドアを叩いている」ということが書かれています。ヨハネはその前に何を書き記していますか(19節)。
  
- 6) パウロがその伝道生涯において力を注いできたことは何ですか(使徒行伝20章21節)。
  
- 7) 今日、私達が注目していることは神様は私達に「悔い改める」ことを強く望んでいらっしゃるということです。なぜですか。なぜ、このことをないがしろにはいけないのですか。
  
- 8) ペテロ第二の手紙3章9節を読みましょう。今日、まだ主の再臨がないということはなぜですか。神が忍耐して待っておられることは何ですか？
  
- 9) ルカ15章7節を読みましょう。私達が何をすると、天の御使い達の間で歓声があがりますか？
  
- 10) 悔い改めはクリスチャンになる時だけ必要なものでしょうか。「悔い改め」はあなたの日常の中に取り込まれていますか。なぜ、このことは必要なものでしょうか。